

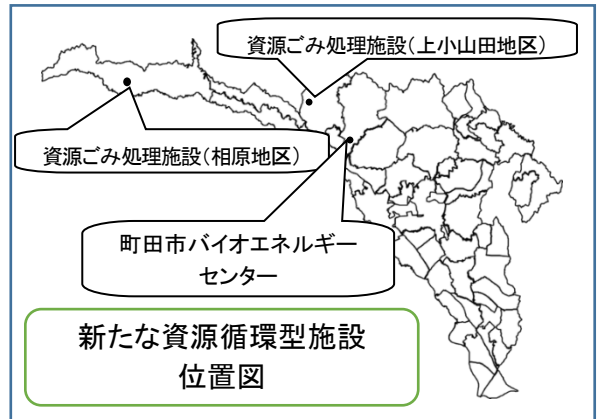
|            |           |       |      |         |         |      |
|------------|-----------|-------|------|---------|---------|------|
| 件名         | 循環型施設整備事業 |       |      |         |         |      |
| 予算額(単位:千円) | 財源内訳      | 国庫支出金 | 都支出金 | 市債      | その他     | 一般財源 |
| 450,028    |           | 0     | 0    | 322,000 | 128,028 | 0    |

【事業の背景・目的】

Ⅱ 部別 6月補正予算概要説明書 92 ページ

「町田市資源循環型施設整備基本計画」に基づき、資源を有効に利用する循環型社会の構築に向けて、老朽化したごみ処理施設に代わり、資源循環型施設を分散して配置します。

2022年1月に稼働した町田市バイオエネルギーセンター(焼却施設、バイオガス化施設、不燃・粗大ごみ処理施設)に加え、資源ごみ処理施設(容器包装プラスチック、ビン、カン等)を市内2箇所(相原地区、上小山田地区)に整備します。



【事業の内容】

資源ごみ処理施設(相原地区、上小山田地区)について、地権者や関連事業との調整を図り、測量や用地取得に向けた手続き、法令手続の準備等を進めます。

【スケジュール】

| 年度   | 2019 | 2020     | 2021    | 2022 | 2023  | 2024  | 2025 |
|------|------|----------|---------|------|-------|-------|------|
| 相原地区 | 施設   |          |         |      | 発注準備等 | 設計・施工 | 稼働   |
|      | 用地等  | 測量       | 都市計画決定等 |      |       |       |      |
|      |      | 用地折衝・取得等 |         |      |       |       |      |

| 年度     | 2022     | 2023 | 2024    | 2025  | 2026  | 2027 |
|--------|----------|------|---------|-------|-------|------|
| 上小山田地区 | 施設       |      |         | 発注準備等 | 設計・施工 | 稼働   |
|        | 用地等      | 測量   | 都市計画決定等 |       |       |      |
|        | 用地折衝・取得等 |      |         |       |       |      |

【事業費】

|               |            |
|---------------|------------|
| 物件等補償料(相原地区)  | 280,000 千円 |
| 用地購入費(相原地区)   | 150,000 千円 |
| 測量委託料(上小山田地区) | 20,028 千円  |

【特定財源】

|                     |            |
|---------------------|------------|
| 廃棄物処理施設整備事業債        | 322,000 千円 |
| 廃棄物減量再資源化等推進整備基金繰入金 | 128,028 千円 |

|      |                    |    |          |
|------|--------------------|----|----------|
| 問合せ先 | 環境資源部 循環型施設整備課長 田中 | 電話 | 724-4384 |
|------|--------------------|----|----------|

|            |                         |       |      |    |     |       |
|------------|-------------------------|-------|------|----|-----|-------|
| 件名         | 地域における福祉の困りごと相談支援体制強化事業 |       |      |    |     |       |
| 予算額（単位：千円） | 財源内訳                    | 国庫支出金 | 都支出金 | 市債 | その他 | 一般財源  |
| 9,746      |                         | 7,292 | 0    | 0  | 0   | 2,454 |

【事業の背景・目的】

Ⅱ 部別 6 月補正予算概要説明書 72 ページ

「8050問題」や「ダブルケア」など、市民の困りごとが複雑化・複合化しているなか、相談者が身近な地域の相談支援機関において、まとめて相談することができ、早期に複数の支援機関による連携した支援サービスを受けることができる体制づくりが課題となっています。

また、要支援者と支援機関をつなぐ役割は、これまでその一端を民生委員・児童委員が担ってききましたが、成り手不足が顕在化しています。このような中、ひきこもり等により必要な支援につなげることができない潜在的な要支援者を早期に支援につなげる体制づくりも課題となっています。

こうした困りごとを抱える方を早期に適切な相談支援機関につなげ、必要な支援を迅速に行うことができるよう、「町田市地域ホットプラン」に基づき、行政の高齢者・障がい者・子ども・保健等の各分野が、これまで培ってきた専門性を活かしつつ分野横断的に連携する体制を構築します。また、NPO法人や地域活動団体等と協働した支援を行うなど、地域における相談支援体制の強化を図ります。

【事業の内容】

2023 年 1 月から相原地区及び小山地区の 2 地区をモデル地区とし、支援事業を実施します。

①地域における包括的な相談支援の実施

複雑化・複合化した困りごとを抱えた方が、高齢者・障がい者・子ども・保健等の地域における各相談支援機関を移動することなく、1カ所でまとめて相談でき、各分野の専門機関から迅速、かつ、より効果的な支援を受けられる包括的な相談支援を実施します。

②潜在的な相談者への継続したアウトリーチ支援の実施

新たに導入する「地域福祉コーディネーター」が、地域の潜在的な相談者の情報を収集し、本人と直接対面したり、継続的な関わりを持つことで、適切な支援機関につなげます。また、既存の公的支援では解決が図れない場合においても、地域福祉コーディネーターがNPO法人や地域活動団体等と協働し、一人ひとりの状況に応じた支援を行います。

【スケジュール】

| 年  | 2022                |   |   |   |    |    |    | 2023                              |   |    |
|----|---------------------|---|---|---|----|----|----|-----------------------------------|---|----|
| 月  | ～6                  | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1                                 | 2 | 3～ |
| 内容 | 各相談支援機関との事業の運用検討・調整 |   |   |   |    |    |    | モデル地区<br>(相原地区・小山地区)<br>での事業実施・検証 |   |    |

【主な事業費】

- ①多機関による支援会議委員謝礼 391 千円
- ②地域福祉コーディネーター業務委託料 9,282 千円

【特定財源】

- ①②生活困窮者就労準備支援事業費等補助金(国 3/4) 7,292 千円

|      |                 |    |          |
|------|-----------------|----|----------|
| 問合せ先 | 地域福祉部 福祉総務課長 深沢 | 電話 | 724-2133 |
|------|-----------------|----|----------|